

神奈川県立こども医療センター 夏休み公開講座
 もっと知ってほしい小児がんのこと
 ～“小児がん”ってどんな病気？ 小児がん治療・支援を体験しよう！～
 感想の報告

2019年8月10日神奈川県立こども医療センター本館2F講堂にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。当日は、42名の小中高校生が参加され、うち全員の方から感想をいただきました。（回収率100%）。また、見学の皆さま38名のうち29名からも感想をいただきました。（回収率76.3%）。

頂きましたコメントは、判読が難しいものも含め、原則全て記載し紹介しています。ご回答ありがとうございます。

（1）参加者（小中高校生）の属性

① 性別：男性	42.9%
女性	57.1%
② 属性：小学生	52.4%
中学生	30.9%
高校生	16.7%

（2）イベントに申し込んだ理由

【小学生】

- ・自分が小児がんだったから
- ・レモネードスタンドをやってほきんをしたいと思い、小児がんについて知りたいと思ったから。
- ・小児がんのことをよく知りたいから。
- ・もっと小児がんについて知りたかったから。お医者さんになりたいから。
- ・小児がんやレモネードスタンドが知りたくてきました。
- ・しょう来の夢が”看護師”なので、お母さんにすすめられたから。
- ・しょうらいいりょうにかんけいする仕事につきたいからです。
- ・小児がんがどんな病気か興味があったから。（知りたかったから）
- ・母にさそわれ、小児がんのことについて知りたいと思ったから。
- ・がんに興味があり、学校の夏休みの宿題などで提出しようとおもったから。
- ・私のしょう来の夢が看護師なので、このイベントをやりにきました。エコー検査や模ぎ・手術をやったりするのにきょう味があったので、申し込みました。
- ・父が子どものとき小児がんだったから、知っておこうと思ったから。
- ・小児がんについてくわしく知りたかったから。
- ・小児がんについてもっと知りたかった。しょう来、薬剤師になりたいから。

- 親にすすめられたから。
- きょねんさんかしてみても、とてもたのしかったし、ふだんならうことのでいないことを学べるからです。
- 小児がんにきょうみがあったのでこのイベントに申し込みました。
- しょう来、ぼくは医者になりたく、医療について、などなど、まだ、知識が少なかったし、がんについて、いろいろと知りたかったからです。
- 自分なることもありえるから、どうして小児がんになるのか、知っておくため。
- もっと小児がんのことについて調べたい、知りたいと思ったから。
- お母さんがおしえてくれた
- 気になったから

【中学生】

- 親にすすめられた。web サイトで見て、面白そうだと思い申し込んだ。
- レモネードスタンドについて、ネットで知り、気になって調べたところ、この講習を見つけたため。
- 医療に興味をもってるけど小児がんについて詳しく知らなかったので今回の機会に理解を深められたら良いと思ったから。
- 母がメディデータソリューションズに勤めているため付きそいのような形で申し込んだ。
- 小児がんやがんのことについてもっと詳しく知りたかったから。
- 小児がんのことをもっとしりたかったからです。
- もっと小児がんについて理解を深めるため
- 医者という職業に興味、関心があった。• 小児がんという自分がかかってしまってもおかしくない病気を知っておきたかった。
- 友達にさそわれたため • 医学に関して興味があったため
- 技術体験に興味をもったから。
- 母からのすすめ • 小児がんについて知りたいと思ったから
- 親に勧められて興味を持ったから。
- 親にすすめられて

【高校生】

- 私の友達が小児がんで亡くなった事やもっと多くの人に小児がんについて知ってほしいと思い今回参加しました。
- 学校でポスターがはられていて、私も子どもの時、病気になっていたこともあり、小さい子の病気について知りたいと思ったから。また、医師を目指しているため。
- 学校でポスターを見かけたから。
- 赤はな先生の院内学級などを知ったことにより、子どもが病気になってしまったときの対応や、そこから回復できた方の話を聞いたかったから。
- 将来、がんに関する研究をしたいと考えているから。
- 将来小児科医になりたいから

- 小児がんを患っていた友人と出会い、将来は晩期合併症などの研究に携わりたいと思っているので、イベントに申し込ませて頂きました。

(3) 小児がんについて思ったこと、感じたこと

【小学生】

- 細ぼうなどむずかしいことばがむずかしかったです。
- 小川名さんの話の中の入院中の友達が亡くなっていた話で、自分も友達を大事にしようと思った。
- 大切な人が小児がんでなくなったひとの悲しいことを感じた。
- お話を聞く前は”がんってなんだろう”とあまり考えたことはなかったけれど、お話を聞いて、”もっとよく考えてみよう””自分にできることは？”と考えることができました。
- つらくくるしい生活で大変なんだなと思いました。
- 小児がんになってしまっている子供がたくさんいることを知って、今、分かったことの他にも、自分にできること、もっと小児がんのことを知って、小児がんがどういう事なのか、怖さをもっと知っていければいいなと思った。なので、支援などに参加したいと思った。
- とてもこわいびょう気だと思いました。• 私もなるかもと思うとこわくてたまらなくなりました。
- 小児がんになったらこわい。• 薬での副作用でかみがぬけたり、頭がいたくなるんだと思った。
- 小児がんは、体の細胞に異常ができることが原因だということを知ることができ、そのような病気になった人たちを助けるためにできることをやってみたいと思った。
- 今は科学が発達して、70%~80%の人はがんが治るようになりましたが、しかし、残りの20%がなくなってしまう、今は2人に1人ががんで亡くなると聞いたので、将来もし、きかいがあればより多くの方が治るような薬やちりょう方法などを見つけて科学にこうけんできるようにになりたいです。
- 小児がんでいろんな子ども達が命をおとしているときいたときは「こんなにいっぱい死んでいってしまうおそろしい病気だな」と思いました。小川名ゆうきさんも言っていたように「生きているだけで丸もうけ」と言う言葉にそのとおりだと思いました。
- 大人よりも小児がんのほうが、治りやすいけどがんだから亡くなってしまう人もいるんだなと思いました。
- 小児がんは大人のなるがんより治りやすいというのがおどろきました。それにがんの治療法でがんになる原因の放射線でも治療出来るのがすごいと思いました。それと小児がんにかかる子どもは日本全国で年間2000人で神奈川県では年間100人と少ないと思いました。
- 知らないこともいっぱいあってとても勉強になりました。小児がんのなる人は私が思っていたよりもずっと多くびっくりしました。またこのようなイベントがあったら参加してみたいです。

- こどもなのにがんになるなんて辛い思いをしているんだなと思いました。
- 小児がんが子どもにできるがんとか他にも、いろいろまなべて、たいけんした人からも話を聞いて、病気のことが少しわかってくることができた！
- 小児がんについて、いろいろな事を、くわしく知ることができてよかったです。実際に小児がんになった方の話を聞いてよかったです。またこのようなイベントがあったら参加したいと思いました。あと、小児がんの人の1日はけんさやべんきょうなどがあってとっても大変そうでした。
- 小児がんについて、ぼくは知っていたけど、そのがんにかかってしまった人の気持ちや、どういしょうじょうが、出るか、知らなかったので、説明や体験談などを聞き、小児がんになったら、とてもつらい気持ちや、しょうじょうはつかれなどを分かり、感心しました。
- 小児がんになって70~80%は治ると聞いてちょっと安心したけど、じっさいに小児がんになった人の話を聞いてこわくなった。
- 小児がんの中でもいろんな種類を知った。また、悪性しゅようなどのことを知った。小児がんの大切なことを知った。
- 同世代の人たちが苦しんでいると知った。
- がんは色々とヤバイヤツだとか分かりました。

【中学生】

- 白血病をテーマにしたドラマを見て、白血病が危険なことは知っていたが、白血病以外にも、危険ながんがあるのだなと思いました。自分がもし小児がんにかかってしまった場合、どのような心でいることが大切なのか疑問に思いました。
- 小児がんについては、名前は知っていたものの、どういうものなのかは知らなかったので、貴重なお話が聞けました。特に体験談での” 友達の死 ” についてのお話がとても心に残りました。
- 小児がんはとても珍しい病気で理解が得られるのも難しいと思いますが、こうしてイベントに参加して、治りづらい病気から治る病気へと移ってきていることを感じた。
- 皆同じように生まれたのに、小児がんになる人とならない人がいるという事実と、救うことのできない命があるということを知り、なにか自分も手伝いたいと考えた。
- 小児がんによって今も苦しんでいる子がたくさんいて、私は健康で、学校にも行くことができるし、普通に出かけたりできる生活を送っていますが、そのようなことができずに今も一生懸命病気とたたかって生きようとしている子どもがいるので自分が当たり前で生活できていることに感謝したいです。
- 前はわるいことだと思っていたけど、いまはほんとは悪いことではないことがわかりました。
- 改めて大変な病気だと感じた。
- 抗がん剤での治療法が大変だということを知り、つらいということがよくわかった。だが、その薬を使わなくとも、新しい治療法がでてきていたので、よかったと思った。
- そもそものこと、くわしい「がん」のことが分からなかったなので、一から説明していた

だいたいで、分かりやすかったです。小児がんはなぜ大人のがんと分けられているのだろうと分からない事だらけでしたが、血液中に見られるものと、臓物に見られるものと違うんですね。手術しなくても治すことができる薬は私でも知っていましたが、副作用が重々しく、実際にオガちゃんの話聞いて、これほどまできつい治療が楽になればいいのにと、また薬師になりたいという夢が明るみに出てきました。今日頭に入れたことを一人でも多くの人に伝えたいです。

- ごくまれだけれども支援の”わ”が広がっていることを感じた。• 治る病気だけれども治るまでが大変そう。• 子どものときに”がん”になってそれだけでショックだけど友達が亡くなってしまうのも精神的ショックが大きくてとても悲しいと思いました。
- 小児がんの治療といえば辛くて苦しくて、治りにくいものだと思っていましたが、治療そのものは辛く苦しくても、治りやすい病気だと知ることができました。しかし、その中でも治らずに亡くなってしまう子がいるということが悲しくなりまし、そういう子のために自分できることがあればやりたいと思いました。
- 小児がんが1万人に1人の病気だと知って驚いた。小児がんについて病気の治療の過程など初めて知ることが多かった。
- 大変なんだということがわかった。

【高校生】

- 小児がん、いつ、誰がなるか分からない。友達の死、約束、命の大切さを伝えていかないといけない。もっと色々な人が小児がんについて知ってほしいと思った。
- おこる確率は少ないけどおこったら大変で今でもまだ助からない可能性があるのは本当に悲しいことだと思う。また、1つの細胞の異常が増殖で命にかかわる病気になってしまうのはすごく興味をもった。
- 周りに実際に小児がんの経験した人がいなかったの、話を聞いたのはとても貴重な体験でした。
- 小児がんは誰にでも起こる病気誰かのせいではなく自分の細胞に異変が起きてなってしまう病気だった。自分のせいでがんになってしまったと子どもが考えると自分を責めてしまい、生きようとする思いがなくなってしまう子どももいるのでは、と思った。そのために「生きているだけでまるもうけ」など生きているだけで良いということ子どもたちに伝えていくべきと感じた。
- 7、8割は治るようになっているけど、残りの2、3割の命は失われている現実を知って悲しくなった。
- 自分が今健康に生活できていることに感謝すべきだと感じた。体験談や小児がんにかかって現在も闘病生活を送っている方々の様子から、治療の辛さや大変さが分かった。生きたくても生きられない子どもたちの為にも、不自由無く生活できている自分は、日々を大切に生きることにする意思がより強まった。
- 小児がんは大人と違い、治るだけではなくその後の発達に影響したりするため、まわりの人たちの支援がとても大切なものだと思いました。自分の同じ年代の苦しんでいる子供たちが沢山いる中で、今の自分が病気にならず元気に過ごせることに感謝して生きて

いきたいです。

(4)「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと

【小学生】

- レモネードに思いがつかってるとは知らなかったです。
- レモネードじゃなくても、他の飲み物や物でもできるなと感じました。アレックスさんは、前向きですごい。自分が小児がんになったらレモネードスタンドのようなことはできないだろうと思った。
- はんの人と協力してレモネードをつくれたからよかった。
- 自分が病気でも人の気持ちを考えたり、レモネードスタンドを開いたりする活動をもっとたくさんの人につたえたり、自分にできることをもっと考えようと思いました。
- 活動が日本全国に広がって、がんにかかった子どもたちのつらく、くるしい生活をすくってほしいです。
- レモネードスタンドは”アレックス”という女の子がやったことを初めて知った。実際にレモネードスタンドをやってみて、自分たちがやるのでもけっこう大変なのに、病気の子が、大勢の人に作って、渡すことは大変なんだということが改めて分かった。
- だれでも元気にできるのみものだと思いました。
- レモネードを売ってそのお金で小児がんの研究ができるので私も売ってみたいです。
- 小児がんになった人たちを助けるために、レモネードスタンドという方法があることを今日初めて知り、人を助ける時には、物を売ったお金を寄付しようと思った。
- 今日さんかしたことでレモネードスタンドのことについてくわしく分かったし、しえんが必要なことも分かったので、このことを友達やいろんな人に話してこの活動をひろめて自分もやってみようと思いました。
- レモネードを使って小児がんの子どもをすくえるのならばやっていきたいし、1人でも多く子ども達をすくうためせっせよく的にとりくんでいきたいと思いました。
- レモネードスタンドはいろいろな所でおこなわれていて小児がんの子を助けようと努力しているなと思いました。
- レモネードを売ってそのお金を使って小児がんの子どもたちのしえんをするために病院にレモネードを売ったお金を送ったアレックスの優しさにおどろきました。
- レモネードを作る前にアレックスさんの話がきけてよかったです。小児がんとたたかいながらもレモネードをつくってきたアレックスさんは強いなと思いました。レモネードを実際につくってみて少しすっぱかったけれどおいしかったです。家でもまたつくってみたいです。
- わたしもレモネードスタンドを始めてみたいなと思いました。小児がんのせいでつらい思いをしている人にお金をきふして元気にしてあげたいです。
- アレックスが始めたことが、病気の人にとってありがたいことだし、世界じゅうに広がって、もっと多くの「小児がん」の人が治って元気になってほしいです。
- レモネードスタンドの、アメリカの子の話聞いて、自分のためだけでなく、みんなのためにレモネードを売っているのがすごいと思いました。私もなるべくできることをや

りたいと思いました。

- アメリカの少女が他人の病気のために、レモネードを作り、病気のけん究をするお金を集め、寄付して、今も、そのような活動がされていて、アメリカの少女は。とても、優しく思い、ぼくはしょう来、医者になりたいので、寄付されたお金で1秒でも早く、完治できるようにしたいです。
- アレックスは小さい子なのに、レモネードスタンドを作って、すごいと思った。いろんな国に伝わっていけば、いいと思った。
- 参加してレモネードスタンドをやっている人はみんな同じ気持ちなのかなと思った。
- レモネードにはあんな思いがこめられていることを初めて知るとともに、病気になっている人でも努力すれば世のため人のためにやれることがあるんだなあと思った。ぼくもそのような活動に参加してみたいです。
- レモネードスタンドにはこういった少女の思いがあったのが分かってよかったです。

【中学生】

- レモネードを通して支えんすることはとても素晴らしい事だと思いました。ALEX氏が遺した思いを伝えていき、「がん」で死亡してしまう人を減らせることができるとよいと思いました。小児がんは今の自分にとっては身近な事なので、興味をもっておこうと思いました。小児がんというものを理解しておこうと思いました。理解しておくことで、かかった時に、対応ができると思うからです。
- ネットで見つけて、やってみたいなと思っていたので、やり方が知れて良かったです。友達にも呼びかけて、やってみたいなと思いました。レモネードは甘くてあまり好きではないのですが、美味しかったです。
- レモネードは家でも簡単に作れるので、こうして気軽に開催できるレモネードスタンドで得たお金を病院に寄付することで遠くで誰かのためになっているというのは、見えなくても強いつながりがあると思うので、とても素敵なことだと思う。
- 今後行える機会があれば行い、病気の子どもたちの手助けになりたいと思いました。
- 「レモネードスタンド」と聞いて、最初は何をしているのかよくわかりませんでした。今日来てみて、どんな活動をしているのかがよくわかりました。
- 「レモネードスタンド」が一人のアメリカの女がはじめたことはしりませんでした。レモネードが小児がんの子どもをたすけることができることはすごいと思います。
- レモネードの寄付金があればほど集まること分かった。• 小児がんの子供が少しでも早く退院出来るといいなと思った。
- 5分くらいで、作れてしまう、レモネード。それを、売ることにより、何百万という寄付金が集まるのが、すごいと思った。また、その寄付金で小児がんの人を、たすけられると思うと、やりがいを感じた。
- アレックスさんのすてきな考えが、世界に広まるとは思いませんでした！自分より可愛くて夢のある発想が今に役立ち、一人でも多くの子供達が助かるのだと思うと私もスタンドをやりたいと思えました。(今じゃないですが) 甘いレモネードで助かる人がいるなら少なくとも多くの人知ってくれれば良いなあ、思えました。時間が無く、字が雑

で申し訳ありませんでした。

- 小さな子どもから生まれた発想が現在にいたっていることに少しおどろいた。その願い、夢が現在へ引きつがれていることも分かった。
- 体験してみたら意外と作るのは簡単で、これなら様々なところでできるなと思いました。また、自分よりも小さい子が自ら活動していることを知り、自分にもできることをしたいという気持ちになりました。
- アレックスの意思が今も受け継がれていてすごいと思った。レモネードスタンドを学校で開催してみたいと思った。私達が小児がんの治療をよりよくするためにできることはあると初めて知った。私達がレモネードを売ることが、だれかの為になるのは良いことだと思った。
- このような支援があるのだとわかった。

【高校生】

- 売るのは何度もやっているが作るのは初めてだった。一人でも多くの方がレモネードスタンドについて知り色々な場所でやってほしいと思いました。全国各地でレモスタをやってほしいと強く思いました。
- 上のこともあるので、レモネードスタンドを通し、少しでも研究費などの足しを自分たちでつくれるのなら、今後やってみたいと思った。
- 中学校一年生の時に他校の友達がやっていて何か分からずに募金したので、今回の講座を通してその始まりややり方を知れて良かった。レモネードスタンド以外にも高校生である自分ができることをもっと考えていきたいと思いました。
- アメリカの小さな子がこんなことを思いつき、お金を稼いだことに驚いた。自分だったら自分で病気について学び、より良い解決策を考えたいと思ったがそれは1人で抱えてしまっている。それよりもみんなで協力した方が大きな力になる、ということが分かり、これからもみんなで協力していきたいと思った。
- 自分も活動をしたいと思ったし、将来がんの研究者となることができれば、この研究ができるのはたくさんの方が支援してくれているからだ、と感謝しながら研究をしていきたい。
- 小児がんと懸命に闘う子どもたちの為に、レモネードを通して支援活動をするのは本当に素晴らしいと思う。レモネードスタンド創始者が小児がん患者本人で小児がん患者全員のことを考えて活動を開始したことに驚いた。レモネードスタンド以外にも、病気で苦しんでいる子どもたちに手をさしのべられるような活動に参加したいと思った。
- 私には病気の子供達を助けたいと思うけれど、今の自分には病気を治すことは出来ません。しかし、レモネードスタンドなどで支援することはできると思うので、今の自分に出来ることを見つけて、行動に移していきたいです。

(5) 見学者の属性

① 性別：男性	20.7%
女性	75.8%

無記入	3.4%
② 立場：親	96.6%
無記入	3.4%
③参加目的（複数選択可）	
小児がんについて知りたかったから	48.2%
自分の子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから	20.7%
知人・友人が小児がんだから	13.8%
”がん”について知りたかったから	6.9%
レモネードスタンドの話をTVで見たことがあったから	17.2%
ボランティア活動や、社会貢献活動に興味があったから	20.7%
送迎（付き添いのため）	44.8%
その他	13.8%
その他（詳細） <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の見聞を広める為 ・ 造血細胞移植等、医療に興味があった。それを支援するチャリティに興味があった。 ・ 娘が医療方面の進学を考えているので、こういった活動にも興味を持ち、色々と深く考えるキッカケとして参加させていただきました。 ・ 子どもが医療関係の仕事に興味があったから 	

【感想】

- ・ 私自身、小・中とこども医療に長期入院をしていました。おそらく小児がんの子とも一緒に院内の学校で授業を共にした事もあるのですが、当時は全く知らなかった理解していなかったお話をたくさん聞く事ができました。大人になって初めて知る事ばかりでよい経験になりました。子供達にとっても、わかりやすくレモネードの体験を通じて、より身近に考えるきっかけになってくれたと思います。今回、さんかしていた子供達のまわりには、レモネードスタンドの開催を生かせる場面や環境がきっとたくさんあると思います。お祭りや文化祭…見かけるのがあたり前になったという位、支援の輪が広がっていけば良いなと思います。ありがとうございました。”
- ・ 命の大切さをあらためて感じる事ができました。この活動がもっともっと広がり、命の大切さを学ぶとともに、病気で苦しむ子どもたち、その子たちを支える家族、医療関係者たちへ、たくさんの支援の輪が広がることを強く願います。中学生という多感な時期の子を持つ親として世の中のことをもっと知ってもらいたいと思い、生の声を聞ける場として参加を決めました。まだまだ限られた場所での活動だと思いますが、どうかたくさんの若い子たちに聞いてもらいたい内容でした。本当にありがとうございました。
- ・ 子供が進路を考える時期となり、貴重な体験をさせていただきました。体験談は短時間でとてもわかりやすく聞くことができてよかったです。ありがとうございました。
- ・ 息子が子ども医療センターでお世話になりました。おかげさまで寛解5年になりました。体験談の話では闘病中の辛さが思い出されて涙が止まりませんでした。参加した息子は

4年生。息子にとって命を大切に、(治療の)手術のハンディに負けず、強く生きていくことを考えるよいきっかけになったのではと思いました。

- 子が命の大切さをわかったかもしれないなうれしいと思う。
- 短い時間でしたが深い内容で大変よかったです。こういう話を子どものうちに聞ける機会を持てることは貴重です。ありがとうございました。
- 医学、医療、サバイバーの話、チャリティーの話、いろいろともうらしたすばらしいイベントでした。
- 医療の発展のため、動けたらと思います。
- 小児がんのことがよくわかりました。体験談は心をうたれました。日本はチャリティーがまだ未成熟なのでこのような活動が広まるといいなと思いました。
- レモネードスタンドと言う募金活動を本日のイベントで初めて知り、今後も続けてほしいと存じます。
- 弟にも小児がんについて少ししてもらいたかったので参加しました。いろいろな活動がある、行われている事を子ども達にも知ってもらいたかったのでとてもよかったです。レモネードがあまりなじみが無いですがとてもおいしかった。
- 命のこと、健康のこと、病気のこと、小児がんのこと、自分自身のことについても、親子見つめ直す良い機会となりました。
- 入院、治療、友達の死、つらい日々をのりこえて生きることの大切さを考えさせられました。病気の原因が早くわかって治療ができれば良いですが、検査してもわからない。様子を見ている内にわるくなる。小児がんは成長期で心配です。
- 子供が小児がんという病気を知り、きっと何か感じた事と思います。苦しい思いをして頑張っている子達がいることを知り、世の中には自分の知らない事がいっぱいある事を深く感じてくれたらと思います。
- 病気という個人的であり罹患した本人や家族の中で向き合う場面が多い話題について、広く同年代の子どもたちに分かりやすく考える機会として、大切な時間だと実感致しました。今回参加した経験が参加した子どもたちにとって、病気だけでなく、人間として多様な価値感をもって生きていく引き出しになることを祈っています。
- とても貴重な体験をさせていただきました。
- レモネードスタンドを学校のイベントなどでやってみたかったので参加しました。今日のことをみんなに伝えてみようと思います。ありがとうございました。
- 活動したことや募金が研究や開発に使用されると知ったので、募金しやすくなると思います。
- 小児がんの内容、体験された方のお話、レモネードスタンドの成り立ち等、心に残るお話がたくさんあり、命の大切さをあらためて感じました。娘と共に自分たちにできることを考えてみようと思います。ありがとうございました。
- 体験談を聞くことができ、こんな小学校の先生がたら、勉強以外にも学ぶことがたくさんありそうだなと思いました。「命を大切に」という言葉、口に出すことは簡単ですが、実際、病と闘った方からの言葉は重みがあります。Dr.からの講義は子ども目線でわかりやすかったです。

- 小児がんの子供たちは、検査や治療だけでも大変なものなのに、時には一緒に病気と戦っていた友達の死とも向き合わなければならないことを知り、とても過酷な闘病生活を送っているのだと思いました。ほんとに多くの人に小児がんのことを知ってほしいと思いました。
- パワポの資料を大人（見学者）にも頂きたかったです。• 体験談がとてもわかりやすく、力強く、とても良かったです。サバイバーであるのに、力強く生きて子ども達に「命の大切さ」を伝えていることにとっても感動しました。これからもがんばって下さい。• 1班の人数が多いと感じた。サバイバーと健常児と立場が違う子が一緒になるのに少し違和感を感じました。グルーピングは少し難しいと感じました。D班で活動的な男児ばかりにスタッフもかかりっきりで、他のメンバーは取り残されていた。（レモネードもほとんどメンバーは飲めていないのが気になった）小児がんをバカにするような発言もありましたね。（感想を書いている時に）それでも健常児にこのような啓もう活動が必要なのでしょうけど…。ただ感想を発表したどの子ども達もともしっかりしていて、素晴らしかったです。• 午後の体験は、整理券を配ったり、前半、後半に分かれたり、配慮があり、人数が多くても待たずにできてとても良かったです。先生方、スタッフさん、お休みのところボランティア参加して下さい本当にありがとうございました。
- 本日は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。ガンはよく聞く病気ではあるけれど、実際にどんな病気か説明できる人は大人でも少ないと思います。子どもにも大人にもわかりやすい説明でした。小児がんへの理解が深まりました。そして午後の体験では本物の医療機器に触れることができ、感動でした。このような体験から医療への興味関心につながるかもしれません。お忙しい中、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。
- 小児がんのこともレモネードスタンドのことも知らないことばかりでした。今日、小児がんを体験された方のお話を含めて勉強させていただきました。START TO BE.できることから始めてゆこうと思います。貴重な場をありがとうございました。
- レモネードスタンドの話を今回初めて知りました。小児がんや病気とたたかっている子どもたちのことを少しでも身近に感じる事ができればと思い参加しました。また午後に技術体験もとても貴重な機会となりました。お忙しい中、こういった活動をありがとうございます。
- 小児がんについて学べていろいろな治療法があること、なおることでもできる病気という事がわかりました。息子の小学校の先生、小川名先生、学校でおみかけしてもとてもお元気そうで病気の経験をきいてびっくりしました。病気を克服し、社会で活躍していくお話をきくと、私達も元気をもらえました。レモネードスタンドの活動で多くの病気の子ども達を助ける事ができれば、微力ながら貢献していきたいと思います。そして、人の心の痛みがわかる経験がある小川名先生のお話を大切にしたいです。
- 子が医療系ドラマに興味を持った（きっかけは親のがん発症と思われます）事、特に診療放射線技師の仕事に興味を持つようになった事がきっかけで参加させて頂きました。小児がんと言う子と同世代のがんについて体験談を含め分かり易くレクチャー頂いた事、小学生向けにはなかなか無い医療体験をさせて頂いた事は子の将来に向けて貴重な時間

になったのではないかと思います。レモネードスタンドも開催の機会を伺ってみたいと言っておりました。ありがとうございました。

- 娘がいつもお世話になっております。5年生になり、自分の病気の事を色々知りたがるようになってきているため、また将来は自分の病気を治して下さったお医者さんになりたいと夢を語ってくれるようになったため参加致しました。娘の手術をして下さった北河先生に娘が内視鏡を教えていただいている姿を見て感動しました。娘も実際に沢山の事を見たり体験し、楽しかった!!勉強になった!!と、とってもいきいきしておりました。今回はこのようなイベントを開催して下さいありがとうございました。